

緑の風 NEWS

JR東労組



JR東労組ホームページ

East Japan Railway Workers' Union 2025年 4月 16日 No.102

被害者が加害者にされた！ JR東日本武蔵小金井駅暴行事件

4月15日に開催された
第一回口頭弁論が
マスコミに取り上げられる！！



口頭弁論報告集会に270名が結集！

「パワハラ」訴訟
JR東争う姿勢
東京地裁で初弁論

JR東日本の若手男性社員(23)が暴力やパワハラを受けたのに、逆に加害者とされて懲戒処分と出向させられたのは不当として、同社や元上司に処分取り消しと慰謝料を求めた訴訟の第1回口頭弁論が14日、東京地裁(小原一人裁判長)であった。同社と元上司はいずれも請求棄却を求めた。原告の社員は意見陳述で

「やりたい仕事もあり、会社を訴えることにすごく躊躇した。何日も悩んだ」と胸中を明かした上で「被害者が加害者にされる企業風土は是正されなくてはならない」と述べた。

訴状によると、原告は武蔵小金井駅(東京都小金井市)に勤務していた昨年4月に勤務中のやりとりなどをめぐって上司と駅長室で口論となり、上司につかまれソファに押さえ付けられる暴行を受けた。逃げようとして突き飛ばすと、上司

は尻もちをついた。

原告は昨年7月、会社側から「上司への暴行は重い犯罪行為」など出勤停止20日間の懲戒処分を受け、JR東日本グループのバス会社へ出向を命じられた。

【2025年4月15日 東京新聞】



統一ビラ配布行動 231名参加、2,410枚配布

続々と反響の声が届く！

JR東日本、パワハラ訴訟で争う姿勢 「被害者が加害者にされた」と会社を訴えた23歳社員が求めることは

2025年4月14日 19時29分



JR東日本の若手男性社員(23)が暴力やパワハラを受けたのに、逆に加害者とされて懲戒処分と出向させられたのは不当として、同社や元上司に処分取り消しと慰謝料を求めた訴訟の第1回口頭弁論が14日、東京地裁(小原一人裁判長)であった。同社と元上司はいずれも請求棄却を求めた。

◆「やりたい仕事も…すごく躊躇し何日も悩んだ」

原告の社員は意見陳述で「やりたい仕事もあり、会社を訴えることにすごく躊躇(ちゅうちゅう)した。何日も悩んだ」と胸中を明かした上で「被害者が加害者にされる企業風土は是正されなくてはならない」と述べた。

訴状によると、原告は武蔵小金井駅(東京都小金井市)に勤務していた昨年4月に勤務中のやりとりなどをめぐって上司と駅長室で口論となり、上司につかまれソファに押さえ付けられる暴行を受けた。逃げようとして突き飛ばすと、上司は尻もちをついた。

原告は昨年7月、会社側から「上司への暴行は重い犯罪行為」など出勤停止20日間の懲戒処分を受け、JR東日本グループのバス会社へ出向を命じられた。

2025年4月15日 東京新聞 ネットニュース



健全なJR東日本をつくり出すために共にたたかおう